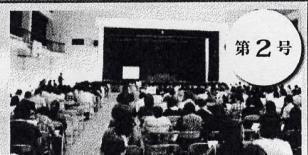


鶴翔高校 P T A

南の風



第2号

平成22年10月26日

編集・発行/鶴翔高等学校 P T A

阿久根市赤瀬川1800番地

☎ 0996-72-7310

印 刷/株式会社 川内新生社印刷



子どもとの ふれあいを大切に

P T A 会長 山 平 裕 治

会長に就任して半年。いや去年をいれると一年半あつという間でした。皆様方にはP T A活動にご協力をいただき、本当にありがとうございました。

日本経済はあいかわらず不安定で、その不安定が景気にも影響し、子ども達の就職への困難さなど、身近なところでも不安が大きく

増大しています。私達自身の経済をも直撃しているこの状況の中で、どのような将来への羅針盤を子ども達に示していくかが大きな課題ではないでしょうか。

経済成長をしていた時代には、目標が見える形でしたが、経済でとらえる目標がなくなつた時に、将来に対する「希望や自信」は、何

によって支えられ満たされるのか、いわゆる「幸せ観」が個々の中で確立されいくことが必要です。これから教育に求められる重要なテーマです。江戸時代には寺子屋や藩校がありました。自分の仕事や社会の決まりごとは、きちんと将来への羅針盤を子ども達に示していくかが大きな課題ではないでしょうか。

経済成長をしていた時代には、目標が見える形でしたが、経済でとらえる目標がなくなつた時に、将来に対する「希望や自信」は、何

によって支えられ満たされるのか、いわゆる「幸せ観」が個々の中で確立されいくことが必要です。政治も経済も情報公開と説明責任が当たり前になっています。また、司法制度も陪審員制度を取り入れました。教育の世界も、先生と文部科学省や教育委員会などの専門家の方だけによるものではなくなつてきたことを痛感しています。今こそ大切な教

育を親が自分のこととして、しっかりと全身で取り組むべきときです。そのことに伴って自信をなくしている私達自身の「生きる力」を取り戻してくれることにも



「鍛える」こと

校長 米丸道郎

本校開校以来、保護者の皆様方には様々に御理解・御協力いただき感謝申し上げます。本校の教育活動が推進できているのも、保護者の皆様方の御支援の賜と思っております。

本校も開校六年目を迎えており、生徒が活発に活動する高等

学校として実績を積み上げてきました。

まず、一点目は学力向上です。社会での基本的学力

が制度疲労を起こしている

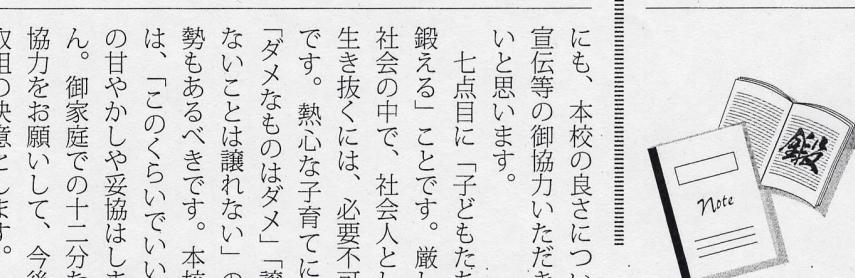
ようです。政治も経済も情

報公開と説明責任が当たり前になっています。また、司法制度も陪審員制度を取り入れました。教育の

世界も、先生と文部科学省や教育委員会などの専門家の方だけによるものではなくなつてきたことを痛感しています。今こそ大切な教

育を親が自分のこととして、しっかりと全身で取り組むべきときです。そのことに伴って自信をなくしている私達自身の「生きる力」を取り戻してくれることにも

によって支えられ満たされるのか、いわゆる「幸せ観」が個々の中で確立されいくことが必要です。政治も経済も情報公開と説明責任が当たり前になっています。また、司法制度も陪審員制度を取り入れました。教育の世界も、先生と文部科学省や教育委員会などの専門家の方だけによるものではなくなつてきたことを痛感しています。今こそ大切な教



育を親が自分のこととして、しっかりと全身で取り組むべきときです。そのことに伴って自信をなくしている私達自身の「生きる力」を取り戻してくれることにも

によって支えられ満たされるのか、いわゆる「幸せ観」が個々の中で確立されいくことが必要です。政治も経済も情報公開と説明責任が当たり前になっています。また、司法制度も陪審員制度を取り入れました。教育の

世界も、先生と文部科学省や教育委員会などの専門家の方だけによるものではなくなつてきたことを痛感しています。今こそ大切な教

育を親が自分のこととして、しっかりと全身で取り組むべきときです。そのことに伴って自信をなくしている私達自身の「生きる力」を取り戻してくれることにも

によって支えられ満たされるのか、いわゆる「幸せ観」が個々の中で確立されいくことが必要です。政治も経済も情報公開と説明責任が当たり前になっています。また、司法制度も陪審員制度を取り入れました。教育の

世界も、先生と文部科学省や教育委員会などの専門家の方だけによるものではなくなつてきたことを痛感しています。今こそ大切な教

育を親が自分のこととして、しっかりと全身で取り組むべきときです。そのことに伴って自信をなくしている私達自身の「生きる力」を取り戻してくれることにも

「飛翔祭」について

上段 亜希子

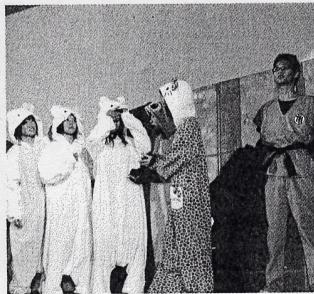
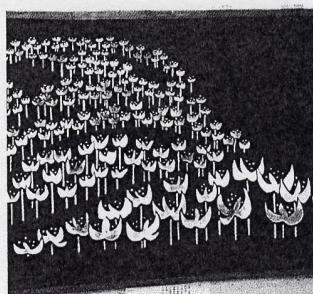
本年度飛翔祭のテーマは

「G o a h e a d M a
k e m y day！」
鶴翔万博2010」。口
蹄疫問題の関係から初めて
校内のみの開催となつた。

六月第二週より飛翔祭準備

期間に入つた生徒たちは、
放課後の時間を利用して、
各担任・副担任の指導のも
と、一年生は展示、二年一
組・二組・四組は展示、五
組は食物バザー、二年三組
と三年生はステージ発表に
取り組んだ。「いつたい何
をするのか」担任同士は腹
の探り合いであり、係とし
てはできるだけ展示内容が
重なることがないように苦
慮するのだが、今年はバラ
エティに富んだ内容であつ
た。オーディションも実施

「事件だよ！
全員集合――！」



され、生徒も活気があつた。

一方、ステージ発表は例年
通り内容がなかなか決まら
ず二転三転。これまた例年
のことだが、前日のリハーサル
でもまだ完成していな
い状態のクラスが…。おまけにリハーサル中に体育館
の電気関係がショートし、
雨の中を係・文化委員・事務で走り回る騒動となつた。

いつたいどうなるのか？？
(みなさんが知らないだけ
で毎年何かしら事件が起
こつているのです！)

さて、当日。三年生に
とっては晴れの舞台。昨日
の段階でどうなることかと
心配したクラスも、なんと
かきちんとまとめてくるあ
たりさすがである。短い準
備期間にもかかわらず、自
分たちでシナリオをつくり、
音響や照明を考えて小道具
を作成したりと、二週間の
努力がわずか十分から二十分
に凝縮されている飛翔祭
は、生徒の成長が見られる
素晴らしい行事である。結

局、ステージ部門最優秀賞

は、某先生のモノマネでダントツの指示を得た三年二

組が獲得（演技時間も大幅
にオーバーだった）。展示

部門は、二年二組。四年連
続でモザイクアートが優秀
賞をとったが、内容が口蹄
疫の発表や切り絵、折り紙
細工など多彩であったため、
どのクラスにもまんべんな
く票が入り、僅差での勝利

であった。たつた八〇〇字
で飛翔祭の苦労や楽しさを語るのは難しいが、大きな
問題もなく無事に終わって
よかつたと思う。

最初に訪問したのは鹿児
島県立短期大学で、学内を
見学できない代わりに、学
校側から資料を通して説明
を受けました。男女共学で、
しかも、夜間部もあるとの
こと。勤労学生も結構な人
数が在籍していましたので、
とても感心しました。しかし、
昨今の社会状況ですか
ら、就職率も数年前と比べ
ると下がつてきているとの
ことで、学校側の苦悩の跡
が見てとれました。

私は今回で最後となりま
したが、訪問してみると、
パンフレットだけではつか
みにくかつたり、感じられ
なかつたりする色々なもの
が見えてきて、やはり自分
の目で確かめるのは大切だ
と実感しました。保護者の
皆様もお忙しいと思います

が、どうぞ来年はたくさん
の方々が参加され、その学

校に進学する・しないは関
係なく、ご自分の目で、肌

で、直接確かめ、見聞を広
めることをお勧め致します。

最後に、色々な準備や手
配をしてくださつた鶴翔高
校の教頭先生をはじめ、諸
先生方に感謝申し上げます。

PTA研修視察について

井上好美

准路研修部長

今年もPTA研修視察の
時期となり、毎回楽しみに
参加させていただいていま
したが、今回は思ったより
人数が少なく、ちょっと寂
しい感じもしましたが、そ
れなりに楽しく行って来ま
した。

各々の学校が特色を持つ
おり、校内を案内していた
だき、説明を聞く度に、もし
我が子が興味関心を持つ
いたなら、入学させたいと
いう思いを抱きました。

私は今回で最後となりま
したが、訪問してみると、
パンフレットだけではつか
みにくかつたり、感じられ
なかつたりする色々なもの
が見えてきて、やはり自分
の目で確かめるのは大切だ
と実感しました。保護者の
皆様もお忙しいと思います

が、どうぞ来年はたくさん
の方々が参加され、その学

校に進学する・しないは関
係なく、ご自分の目で、肌

で、直接確かめ、見聞を広
めることをお勧め致します。

最初に驚いたことが参加
人数の多さです。日本武道
館を会場に行われましたが、

今年度、8月中旬に東京
で行われた全国高等学校P
TA連合会大会に参加させ
てもらいました。大会会場

で、私は会場に行つて来て驚いたことが
多数ありました。

最初に驚いたことが参加
人数の多さです。日本武道
館を会場に行われましたが、

今年度、8月中旬に東京
で行われた全国高等学校P
TA連合会大会に参加させ
てもらいました。大会会場

で、私は会場に行つて来て驚いたことが
多数ありました。

最初に驚いたことが参加
人数の多さです。日本武道
館を会場に行われましたが、

今年度、8月中旬に東京
で行われた全国高等学校P
TA連合会大会に参加させ
てもらいました。大会会場

で、私は会場に行つて来て驚いたことが
多数ありました。

最初に驚いたことが参加
人数の多さです。日本武道
館を会場に行われましたが、

今年度、8月中旬に東京
で行われた全国高等学校P
TA連合会大会に参加させ
てもらいました。大会会場

で、私は会場に行つて来て驚いたことが
多数ありました。

最初に驚いたことが参加
人数の多さです。日本武道
館を会場に行われましたが、

今年度、8月中旬に東京
で行われた全国高等学校P
TA連合会大会に参加させ
てもらいました。大会会場

で、私は会場に行つて来て驚いたことが
多数ありました。

全国高等学校 PTA連合会大会に 参加して

保健部長 谷口洋一



全国高等学校 PTA連合会大会に 参加して

保健部長 谷口洋一

全国高等学校
PTA連合会大会に
参加して

長やトップの席に座り、テキパキと行事を遂行していく姿はすごいものです。私たちの学校も行事の参加者を増やし、学校あるいは会員の意気を盛り上げていけば、充実した行事ができると思います。

次に驚いたことは、各学

校の行事等の遂行です。伝統のある学校は今までの伝えられた行事を取り入れますが、会員の皆さんのが参加しやすいように少しずつでも変えていき、特色ある行事にしていくパワーを感じました。また、新しい学校は伝統ある学校の行事を参考にして、自分たちの学校に合うように話し合い、行事を行っているという姿勢この大会で印象に残ったことは、行事等に参加して一人一人が意見を言い合い、話し合い、有言実行すること

を盛り上げていく。踏まえて踏まれても起き上がり、親が夢・目標をあきらめなければ、子どもはついてくる

という言葉が脳裏に残りました。

最後に、この大会に参加し、自分が親として、P T A会員としてまだまだがんばらなければならないと思いました。子どもは、反抗期で大人気分になつていますが、親がたとえ小さくて

も、夢や目標に向かっていく後ろ姿を見せれば、子どもはついてくると思います。また、皆さんもこのような大会があつたら、ぜひ参加して、様々な学校の様々な行事を知り、他校の会員と話し、意気投合してみませ

んか。

最後の体育祭

保健部 西田 美根子

鶴翔高校体育祭は三回目。

応援団で我が子を見るのは初めてです。上の二人の息子達は応援団をしたことがありません。最後までできるのだろうかと心配でした。応援の練習も夜遅くまでやつっていました。今までの高校生活の中で、途中で終わって続けることがありますませんでしたから、今回だけはびっくりしました。息子にとつても最後の体育祭。

この大会で印象に残ったことは、行事等に参加して

一人一人が意見を言い合い、

話し合い、有言実行するこ

とで、踏まれても起き上がり、親が夢・目標をあきらめなければ、子どもはついてくる

ことです。そして、「親

が夢・目標をあきらめなければ、子どもはついてくる」

これが自然ではないよ。

自然は人と共存しなければ、ただ荒れているだけだ。」

と当時の区長さんがおつ

しゃいました。おそらく昔の手入れの行き届いた緑あふれた里山が、荒廃してい

うな山や田畠からは、栄養



みなさん、阿久根に対してどのようなイメージを持っていますか。いわしや

きびなごの漁業が盛んな地域、ほんたんの産地、シヤツターハートの商店街などを思ひ浮かべる人がほとんどでしょう。そんな中、私が強く思い出されたのは、今住んでいる弓木野地区の風景です。

私たち家族が阿久根の市街地から山手の弓木野地区に転居したのは、ちょうど十年前のことです。

「自然いっぱいで良いところですね。」

と母が話をすると、

「これは自然ではないよ。

自然は人と共存しなければ、

ただ荒れているだけだ。」

と当時の区長さんがおつ

しゃいました。おそらく

昔の手入れの行き届いた緑

あふれた里山が、荒廃してい

ます。そこでは、美しい里山を取り戻すことから始める必要があります」と言われています。

十月九日に開催された、平成二十二年度県P T A研究大会北薩大会「子ども参画シンポジウム」において、本校一年中村光汰くんが、意見発表を行いました。以下はその原稿です。

子ども参画シンポジウム

豊富な水が流れ、清く澄んだ川となり、きれいな海が作られると言われています。そこでまずは、美しい里山を取り戻すことから始める必要があります」と言われています。今、弓木野地区では、少しですが、その実現に向けてある取り組みが始まっています。それは「着生ランの里」です。

「着生ランの里」は、前区長さんが二十七年前に出でて弓木野地区を見てみると、人手のある場所では、全国でも有名な「早堀筍」がたくさん収穫されています。しかし、それ以外では、外来種のセイタカアワダチソウの生い茂る田畠、倒れて朽ちた竹の積み重なる林、うつそうとした暗い森林が年々増加しています。これは、山や田畠の持ち主が高齢化し、後継者が不足しているため、手入れが行き届かなくなっていることが大きな要因です。このままでは前区長さんが話をされていた「自然」が本当に失われてしまうことになるでしょう。昔は林業も盛ん

四季折々の花や果物、地域

の特産品の販売や海の幸、

山の幸をふんだんに使つた

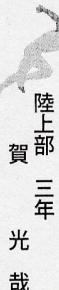
食事もあり、訪れた人々を癒し、幸せな気持ちにさせてくれます。そのようなおもてなしの心遣いが口コミで広がり、来場者がどんどん増えてきています。

私はこの「着生ランの里」の規模を広げ、弓木野地区を「おもてなしの里」にすこしでもおもてなしの心遣いを広げたいと思います。そのため、訪れた人には、時間もかかるでしょう。ですが、人々が協力していけば、必ず実を結ぶと信じています。

私はこれからも阿久根で生活したいと思っています。そして、阿久根が目指している「自然と共生するまちづくり」に携わっていきたいと考えています。そのため、地域の人と一緒に花を植えて育てたり、特産品を使った料理を考えたり、訪問したりするのです。また、地区の中で危険な場所や手入れの行き届いていないところを把握し、少しづつ改善できるよう知恵を出し合うのです。このように、訪

れた人にも居場所があるような環境づくりに努め、リピーターとなつてもらえて良くなります。

最後の大会に向けて



陸上部
賀 光哉

寮での毎日の洗濯や掃除、ご飯の準備などをすることがきつくて、毎日が嫌でした。また、部活動に対しても毎日が必死でした。入部したばかりの頃は、チームの中でも速い方ではなく、

寮での毎日の洗濯や掃除、ご飯の準備などをすることに出場することでした。しかし、結果は五位となり、一緒に出してもらつたの

先日、三歳になる子どもの保育園の運動会に参加しました。親にとても子どもに

ピーターとなつてもらえたが。おそらく花や作物、そして人々の意識を育てていくには、時間もかかるでしょう。ですが、人々が協力していけば、必ず実を結ぶと信じています。

私は高校三年間を通して、駅伝を中心として充実しました。駅伝は中学時代から続けました。中学での部活動はサッカー部でしたが、駅伝の大会に出させてもらいました。駅伝の楽しさを知りました。そこで、高校でも駅伝を続けられ、県で活躍できる高校は鶴翔高校しかないと想ひ、入学しました。

毎日先輩達についていくのがやつとでした。そのような寮生活と部活動を続けていくことに、何度もくじけてしましましたが、寮での毎日の洗濯や掃除、ご飯の準備などをすることも毎日が必死でした。入部したばかりの頃は、チームの中でも速い方ではなく、

毎日先輩達についていくの

が、とても二回目の運動会。昨日は入園間もないこともあり、入場行進の段階ですでに大泣きし、保育士の先生に抱かれ

編集後記

寮での毎日の洗濯や掃除、ご飯の準備などをすることも毎日が必死でした。入部したばかりの頃は、チームの中でも速い方ではなく、

毎日先輩達についていくのがやつとでした。そのような寮生活と部活動を続けていくことに、何度もくじけてしましましたが、寮での毎日の洗濯や掃除、ご飯の準備などをすることも毎日が必死でした。入部したばかりの頃は、チームの中でも速い方ではなく、

毎日先輩達についていくのがやつとでした。そのような寮生活と部活動を続けていくことに、何度もくじけてしましましたが、寮での毎日の洗濯や掃除、ご飯の準備などをすることも毎日が必死でした。入部したばかりの頃は、チームの中でも速い方ではなく、

毎日先輩達についていくのがやつとでした。そのような寮生活と部活動を続けていくことに、何度もくじけてしましましたが、寮での毎日の洗濯や掃除、ご飯の準備などをすることも毎日が必死でした。入部したばかりの頃は、チームの中でも速い方ではなく、

（略）

部活動等大会報告

【秋期地区大会】

●弓道部

男子団体 2位
個人 2位 記録5中
牟禮 健太郎

●バドミントン部

男子 1学年ダブルス 2位
中間 裕大・田ノ上 彩斗
1学年シングルス 3位
中間 裕大
女子 団体 2位
共通学年シングルス 1位
田ノ上 実季
共通学年シングルス 2位
西田 知華

●卓球部

男子団体 2位
男子ダブルス 3位
宮下 賢吾・連尺野 知幸
女子団体 優勝
女子ダブルス 優勝
飯尾 理佐・川田 幸恵
女子シングルス 優勝
飯尾 理佐
2位 川田 幸恵

●テニス部

男子団体 2位
男子ダブルス 2位
若松 洋平・岩切 友樹
男子シングルス 3位
若松 洋平・岩切 友樹
女子団体 2位
女子ダブルス 3位
西門 里奈・牧 綾香

●バレー部

男子 団体 優勝
女子 団体 優勝

第28回全九州高等学校新人陸上競技大会 【九州選手権大会】

男子 5000m競歩 2位
谷口 哲也
1500m 5位
中原 拓海
800m 5位
中原 拓海
200m 6位
山口 龍哉

【第61回日本学校農業クラブ全国大会】

●農業鑑定競技

園芸部門 優秀賞 3年 木場 貴大
農業土木部門 優秀賞 3年 鮫島 明広

役員の皆様のご意見・御協力をいただきました。係の力不足で、まだまだ足りない点も多いかと思いますが、年に二回の発行を予定しております。更に充実した新聞作りができるよう保護者の皆様の御協力ををお願いいたします。